

安全安心な暮らしを環境にも配慮して



元気に遊ぶ第4保育所の子どもたち

ここでは、重点施策や新規事業などについて、6つの分野別にそれぞれ紹介します。

「快適で暮らしやすい安全・安心なまちづくり」主な事業

○は新規事業

- ①良好で人にやさしい都市基盤の整備
 - 前橋駅周辺の交通バリアフリーの推進 2億7,980万円
(南北広場整備、駅周辺道路の整備など)
 - 駒形駅舎橋上化・北口広場整備 3,853万円
斎場整備 3億5,605万円
市営住宅の整備 4億8,000万円
(南橋町団地建て替え基本設計、広瀬第五団地UF棟40戸建設など)
- ②円滑な都市交通の整備
 - マイバス東地区の運行開始 3,000万円
(1カ月間の社会実験を踏まえ平成19年秋から運行開始予定)
ふるさとバス(デマンドバス)の本格運行 940万円
- ③防災・防犯など安心、安全施策の推進
 - 自動体外式除細動器(AED)の市有施設 2,253万円
への増設設備(全小中学校、養護学校、高校と地区公民館などへ)
 - 大型交番建設用地(千代田町地内)の購入 6,207万円
(県と連携した安全・安心なまちづくり推進)
- ④消費者への安全対策
 - 前橋生鮮食料品総合卸売市場改修補助 1,000万円
水道施設の計画的な整備 12億8,256万円

「自然と共生する環境配慮型のまちづくり」主な事業

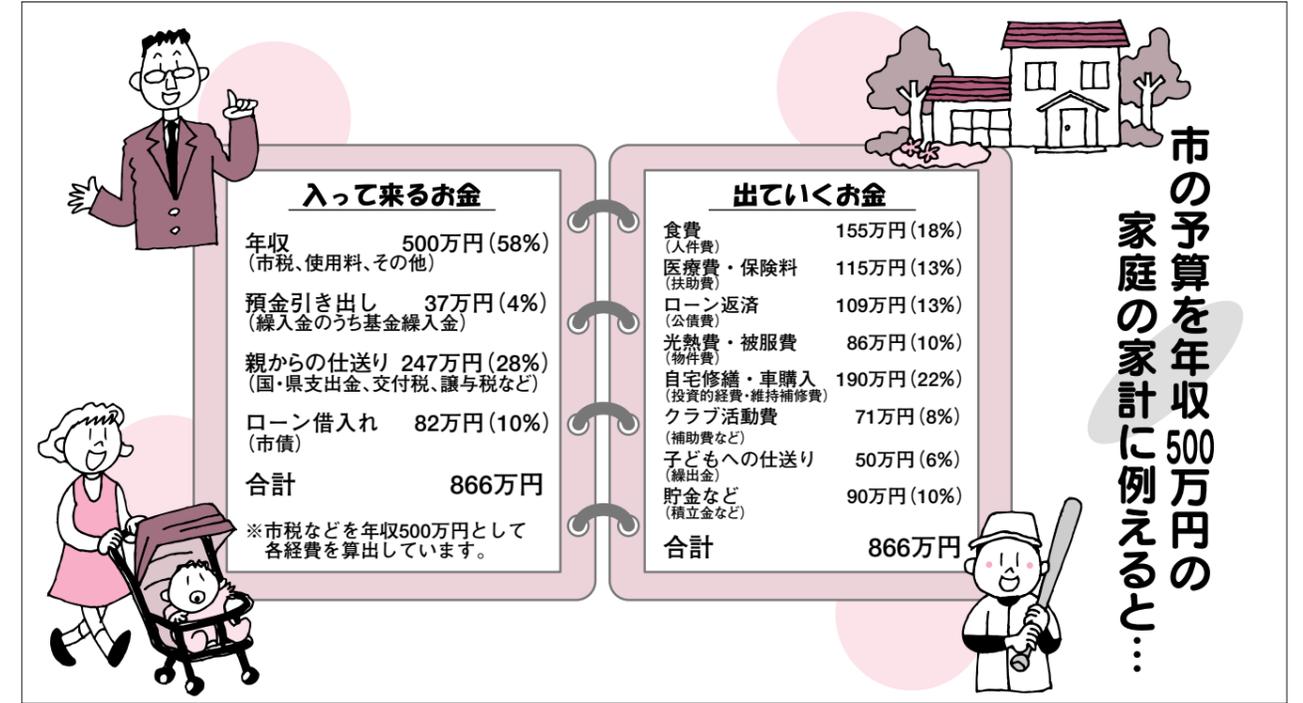
○は新規事業

- ①人と自然が共生する快適環境の整備
 - 全国都市緑化ぐんまフェアの開催 9億3,307万円
(前橋公園・敷島公園ばら園・臨江閣の整備、負担金)
 - 中心市街地再生事業 4,000万円
(諏訪橋から比刀根橋までの広瀬川河畔緑地整備)
- ②循環型社会の形成・環境保全の促進
 - 有価物集団回収事業などによるリサイクル拡充 1億3,996万円
 - 合併処理浄化槽設置補助事業 5,428万円
(単独槽などからの転換補助の充実)

「健康福祉に配慮したまちづくり」主な事業

○は新規事業

- ①市民の健康増進
 - 重粒子線治療施設整備の支援 1億円
(群馬大と県の共同設置・平成18~21年度整備)
 - がん検診事業(充実) 5億5,072万円
- ②安心して子育てできる環境の整備
 - 保育所・幼稚園通園世帯への支援 5億873万円
(保育所第3子以降保育料無料化、幼稚園就園奨励費補助の充実)
 - 児童手当の拡充 3億635万円
(3歳未満児の第1子・第2子の支給月額を増額)
 - 保育所・児童館・児童クラブへの
防犯カメラ設置 1,223万円
- ③生き生きと高齢者が暮らせる社会
包括的支援事業の推進 1億3,298万円
(介護予防マネジメント・相談・支援などの推進、地域包括支援センターの増設)
 - 地域密着型サービス施設整備の支援 6,000万円
(小規模多機能型居宅介護サービス施設2カ所、認知症高齢者グループホーム2カ所)
- ④障害者の自立と社会参加の促進
 - 障害福祉サービス利用者の負担軽減 2,700万円
(低所得者の通所施設・在宅サービス利用者負担などの軽減措置の拡充)
 - 障害者自立支援特別対策事業 1億1,726万円
(障害者自立支援法への制度移行に対する激変緩和措置など)



「元気で楽しい前橋」を基本理念として、市民の皆さんが健康で生き生きと暮らせる社会、安全で安心な都市、夢と希望と誇りを持てる都市の実現が目標です。医療・教育・福祉の充実を図るとともに、地域資源を最大限に生かしながら、都市の活力や、「前橋らしさ」をつくり出す具体的な施策に引き続き取り組んでいきます。

また、地域の特色を生かしながら、農業や商工業を中心

地域資源を最大限に生かし「前橋らしさ」をつくり出すため

2つの重点施策中心に

「元気で楽しい前橋」に向けた地域経済の再生に取り組みとともに、中央公民館の移転や新市建設計画の推進による都市基盤整備など、実効性のある施策を展開します。そのための二つの施策である「元気で楽しい前橋に向けて」「第六次総合計画を見据えた主要六分野」について、ご紹介いたします。なお、主要六分野ごとそれぞれの重点施策などは、5・6ページに掲載しました。

- 「元気で楽しい前橋に向け」
- 新市建設計画の推進
 - ①合併支援を活用して、子育て環境・生活基盤などの整備を推進②小中学校・児童クラブ整備、主要幹線道路整備(大胡・宮城・粕川地区)、宮城支所整備など。
 - 中心市街地大型空き店舗(旧リヴィン)の再生
 - 中央公民館移転、こども図書館・市民プラザの開設、福祉系専門学校・商業テナントの入居



着々と工事が進む旧リヴィン